

令和4(2022)年度第1回 大田原市介護保険運営協議会 【会議録】

- 1 日 時 令和4(2022)年7月7日(木)午後1時30分~3時15分
- 2 場 所 大田原市役所南別館2階 会議室1
- 3 出席委員 17名(植木重治委員、富永一男委員、渡部貢委員、川上千代子委員、松本美代子委員、阿久津雅章委員、福原健治委員、八木良委員、丹野洋委員、磯友美委員、辻野浩子委員、小野田公委員、車田宏之委員、増山茂樹委員、伊藤都委員、高安喜久次委員、川上清委員)
- 4 欠席委員 1名(稲村隆夫委員)
- 5 事務局 益子保健福祉部長、小林高齢者幸福課長、遠山高齢支援係長、鈴木介護管理係長、大久保介護サービス係長、田口地域支援係長、小林副主幹、阿久津主査
- 6 内 容
 - (1) 開会・進行 小林高齢者幸福課長
 - (2) あいさつ 益子保健福祉部長
 - (3) 委員の委嘱について
 - ①委員の委嘱について説明
2名の委員が所属団体の役員改選により役職を退かれたため、後任として「富永一男氏」「車田宏之氏」の2名が新たに委員となる。委嘱期間は前任者の残任期間(令和5年3月31日まで)。
 - ②委嘱状の交付 富永一男委員、車田宏之委員に対し、益子保健福祉部長から委嘱状が交付された。
 - (4) 会長選任
前会長退任に伴い、新たな会長を選任することとなったが、「事務局一任」の声があり、事務局案として提示した「車田宏之委員」に全会一致で決定した。なお、職務代理者の任については引き続き辻野委員となる。
 - (5) 会議録署名人の指名
車田会長から高安喜久次委員、川上清委員が指名された。
 - (6) 議 事
 - (1)令和3(2021)年度介護保険特別会計決算状況について【資料1】
 - ①介護保険特別会計決算見込みについて
令和3年度の歳入決算額は7,192,915,998円で執行率が98.8%、歳出決算額は7,081,172,335円で執行率が97.2%、差引残高は111,743,663円となったことを説明した。

②第1号被保険者保険料の充当状況について

令和3年度の実質必要保険料は1,538,566千円、保険料収納額1,535,684千円で不足額は2,882千円となり、そこに保険者機能強化推進交付金残額相当分等を加算した実質余剰額45,252千円が介護保険財政調整基金に積み立てられる予定であることを説明した。

<質疑なし>

(2)令和3(2021)年度介護保険事業の実施状況について【資料2】

①介護保険サービス給付実績

計画額の合計6,300,205千円に対し、給付額の合計が6,298,587千円で執行率は100%となり、令和2年度の給付額6,155,459千円と比較し、令和3年度は143,128千円増加したことを説明した。

②介護予防・日常生活支援総合事業サービス給付実績

訪問型サービスは令和2年度と比較して前期は利用が伸びていたが、後期は減少に転じ全体としては37,882円の減となった。これは新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化したことも影響したと考えられることを説明した。

また、通所型サービスは令和2年度に引き続き減少傾向で推移し、5,025,358円の減となった。これは新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、利用控えが起きたためと考えられることを説明した。

③八木委員からの事前質問への回答

「本市の介護保険特別会計における財政調整基金の残高が多すぎるのではないかと。保険料の試算の際にもっと取り崩して、保険料を下げるべきでないか。計画期間中に徴収した保険料はその計画期間内に使い切るべきで、計画策定の際に余剰が出るような試算を行うことは不適切である。」という要旨の八木委員からの事前質問に対し、計画期間中に何らかの理由で給付額が計画額を上回り介護保険料が不足しないように基金を残すことも必要だと考えていること、この5年ほどは計画値を下回る給付額となり基金への積立額が大きくなっているが、必要なデータはすべて分析し、最小限の誤差で収まるように推計したが、給付が伸びなかったため現状の基金残高が残ってしまったとの認識であること、この基金残高については、第9期計画における保険料分に充てることとなり、第8期計画においても基金を充当することで保険料を減額したこと、赤字になった場合の将来的な負担増を考えれば、余剰金ができるほうが市民の負担感は軽いとの考えであることを説明した。

<質 疑>

(八木委員)

市の説明は理解できるが、基金の積み増しは市民の保険料の過払いに他ならない。今期計画で見直すことが難しいのであれば、これまでの推移に基づいたシビアな読みを第9期計画に反映していただけるとありがたい。

(増山委員)

本市の介護保険料が月額6,000円ということだが、那須塩原市はいくらか。

(事務局)

那須塩原市は現在5,400円である。

(増山委員)

大田原市の人口は減っているが那須塩原市は逆に増えている。例えばどちらかの市に住むことを検討する際、水道料金や介護保険料を比べる。那須塩原市はコロナにかかった時に見舞金として一人につき5万円を支給している。それらが、大田原では人口が減ってきて那須塩原では増えているところに現れているのではないか。

この6,000円というのは本当にいいのかどうか、これから考えてほしい。

(会長)

今この会は次の保険料を決めるという会ではない。市は、八木委員や増山委員の意見を参考にさせていただきたい。今度ここでまた会議があるときに委員の皆様にも検討していただきたい。

(八木委員)

今後の計画策定にあたってはこの運営委員会でまた検討していくことになる。第9期計画も事務局が作成した保険料を我々が一番に目にするようになるので、金額が妥当なのか、私が申し上げた部分を考えながら皆様も目を通していただき慎重に議論ができればよいと思っている。

(3)令和3(2021)年度介護認定状況について【資料3】

令和3年度の認定件数は3,776件と前年度より26件増加し、認定申請件数は3,794件で前年度と比較して710件増加した。これは、新規申請と区分変更申請は減少しているが、更新申請が753件増加していること、更新申請2,429件のうち12か月合算申請が1,617件含まれていることによるものと説明した。

<質疑なし>

(4)令和3(2021)年度生活支援体制整備事業(ささえ愛おおたわら助け合い事業)の運営状況及び今後の推進について【資料4】

第1層協議体では広報おおたわらに「ささえ愛の活動」紹介コーナーを設置することができ、第2層では見守り活動にプラスして生活支援の件数が伸び、支え合いが盛んになっていることや住民主体の地域づくりが進んでいること、今後も各種課題について検討していくことを説明した。

ささえ愛サロンは、令和3年度の補助金交付団体数が17団体、延べ利用者数7,170人となり、コロナの影響で利用者数が落ちている。累計団体数は令和3年度末で20団体となり、今後も補助金の周知を徹底するなどして進めると説明した。

<質疑なし>

(5)あんしんプラン第8期計画における令和3(2021)年度事業評価について【資料5】

重点項目として設定した4つのビジョンごとに、令和3年度の事業実績を元に自己評価を行ったことを説明した。人が集まる会議や研修、サロンやカフェといった事業等が新型コロナウイルスの影響により、ほとんど開催できない状況であったものを除けば、難航している事業は現状ではほとんどないため、概ね順調に実施できていると考えていると説明した。

<質疑なし>

(6)あんしんプラン第9期計画策定について【資料6】

在宅介護実態調査を9月頃から年度末までに600件を目標に実施すること、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を秋から年末に5,000件程度行うこと、来年度は4回の運営協議会で審議する旨の説明をした。

<質疑>

(渡部委員)

第9期の策定にあたり、例えば携帯のメールの教室などを設け、認知症などの予防対策などを重視していくべきではないか。それにより保険料の抑制等につながる気がする。認知症の改善を図った事例や、介護になる方が少なくなった事例のある他市町を訪問して実情を確認し、策定をしていったほうがいいのかと思う。

(事務局)

携帯教室等も支援を行っている事例はあるので、当然計画の方に込ませていただく。現場を見るというのは視察という意味か。

(渡部委員)

今はコロナなので、そういう取り組みは厳しいかもしれないが、そういった部分を調べ、大田原市にあった策定を行ってほしい。

(事務局)

できる限りのことは考えたいと思う。

(小野田委員)

今回新型コロナウイルス感染拡大によって生活圏の中で色々の変化があったと思うが、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の中にコロナに関する質問項目は現状ないと思う。そういうものは盛り込まない予定か。

(事務局)

設問自体、国から示されたものがベースになる。その中に現時点では入っていないので、もし入れるとすれば市独自にどこまで入れるかということだが、現時点では白紙状態である。今後、入れるかどうかも含めて検討したい。

(小野田委員)

これだけ影響している問題なので、ぜひ調査の中に入れていただければと思う。

(八木委員)

第8期計画で立てた基金の取り崩し額も実際の決算書を見ると取り崩さずに済んでしまっている。積み上っている金額は第1号被保険者から預かった大切な保険料なので、計画を立てたのであれば、3年間できちんと取り崩していけるような計画作りをお願いしたい。それが適正な保険料だと思うのでよろしくお願いしたい。

(7) その他

(高安委員)

現在、諸物価が値上がりしている。介護保険料についても次の3年間はかなり値上がりすると思う。積算してみないとわからないと思うが、1,000円くらい上がる気がする。そうとも限らないのか。

(事務局)

第8期あんしんプランの中で2025年の保険料を大まかに計算しているが、そこでは7,000円程度になっている。

今後、今ある基金を取り崩し、3年間でどれくらい利用されたか集計し、高齢者の人口の推計をし、そこで比較することとなる。現時点では7,000円を上回るのかもっと安くなるのか、何とも言えないが、目安としては7,000円くらいになるだろうと試算をした。

(事務局)

令和4年度第2回の会議は、令和5年2月末から3月半ば頃に開催予定。

(7) 閉会

以上